

農閑期の有害鳥獣対策！ 秋から冬にかけては、シカ・イノシシに 餌を与えないようにしましょう。



垂井町内でシカやイノシシによる農作物の被害が発生しています。

農閑期の秋から冬に対策をせず、シカやイノシシに貴重な餌を与えてしまうと、翌年春以降にも集落へ出没し、農作物の被害に繋がっていきます。そのため、農作物を作付けしていない時期にも対策が必要です。

秋から冬 シカ・イノシシは集落で何を食べるの？

- ・ 稲のヒコバエ
- ・ 放置されたキャベツや白菜の外葉など
- ・ 栗や柿など収穫しない木の実
- ・ 青々とした畦畔などの雑草
- ・ 採草地の牧草
- ・ 家庭から出る生ごみなど



▲柿



▲ヒコバエ

どのように取り組んだらいいの？

- ・ 稲のヒコバエを伸ばさないように、早く秋耕する
- ・ 野菜の収穫残しを放置しない（鋤き込みを行うなど）
- ・ 生ごみは、コンポスト容器などを使い堆肥化する
- ・ 収穫しない木の実を放置しない
- ・ 秋から冬も侵入防止柵を管理して動物を入れない



▲秋耕の様子